

「地方交通の未来プロジェクト」

～第2弾～



東京支部は5月28日～30日、大船渡線（鉄道区間 一ノ関駅～気仙沼駅・BRT 区間 気仙沼駅～盛駅）現地調査行動を実施しました。大船渡線の利用者や各観光センターにてパンフレットの配布、地元で働く方と大船渡線に関する意見交換を行いました。特に大船渡線は震災以降、BRTの導入により鉄道が寸断され接続の時間に関して多くの方から意見が出されています。気仙沼駅から仙台までの直通列車なくなったのと鉄道区間が大きく蛇行しており、通勤の方の多くは自家用車であり、鉄道の利用者は学生がほとんどです。また、BRT導入により地元のバス会社の運転士不足が問題となりバス会社存続のそのものが危ぶまれる状態に陥っています。今回、地元住民と意見交換を行ったことで様々な問題が浮き彫りになりました。地元住民の考えを尊重し今後の鉄道のあり方を考えていかなければいけません！



**意見交換会を
開催**

